

みつぼし盆唄

☆踊りなされよ みつぼし踊り

踊りでこの身が コラア果てるまで  
(ハア—この身が コラア果てるまで)  
(ハアチヨトサ チヨイチヨイ)

☆踊りおどるなら しなよく踊れ

しなの良いのは コラアだれも好く

☆後三月 あやめは五月

咲いて年取る コラア葎の花

☆娘島田に 蝶ちよがとまる

とまるはずだよ コラア花じゃもの

☆惚れた仲なら 泥田の水も

飲めば甘露の コラア味がする

☆蝶よ花よと 育てた娘

今は他国で コラア花咲かす

☆何をくよくよ 川ばた柳

水の流れを コラア見て暮らせ

☆来るか来るかと 川しも見れば

河原よもぎの コラア影ばかり

☆たった一夜の しぐれに濡れて

乱れましたよ コラア萩の花

☆わしとあなたは 羽織りの紐よ

堅く結んで コラア胸に抱く

☆あなた百まで わしや九十九まで

共に白髪の コラア生えるまで

☆色の黒いのに おしろいつけて

春の焼山 コラア霜が降る

☆咲いた桜に なぜ駒つなぐ

駒がいさめば コラア花が散る

たそろたよ 踊り子がそろた  
龍の出穂より コラアよくそろた

☆宿にかかれば いななく駒が

駒がいさめば コラア鈴が鳴る  
(ハア—いさめば コラア鈴が鳴る)  
(ハアチヨトサ チヨイチヨイ)

☆好いて好かれて 添うのが妻よ

親が添わせりゃ コラア義理の妻

☆三味の音もする 太鼓も響く

聞けば殿ごの コラア声もする

☆赤と白との 染め分けたずな

袖にゃサイの目のコラアつかみ染め

☆どこのお方か 踊りが違う

違うはずだよ コラア旅の方

☆竹の切り口 溜まらず小は

澄まず濁らず コラア出ず入らず

☆盆と盆 一度に踊れ

昼は菊根つき コラア夜は踊り

☆酒飲み男が 可愛いてならぬ

飲んでくだまきゃコラアなお可愛い

☆抱いて寝もせず いとまもくれず

つなぎ舟かよ コラアわしが身は

☆色で迷わせ 味では泣かせ

ほんにお前は コラアとうがらし

☆三味がなるかや 太鼓がなるか

三味と太鼓の コラア合いが鳴る

☆私しゃあなたに 転ぶほど惚れた

けさも二度見てコラア三度転んだ

☆今年しゃ豊年 穂に穂が咲いて

みんな踊ろよ みつぼし踊り

★さあ皆さん みつぼしチヨイとやめて  
当世はやりの 投げ出しを投げ出しを  
(投げ出し)